

復興総合計画後期基本計画 施策評価シート

施策 ① 豊かな心と体の育成

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

震災と原発事故の影響による市民の避難や転出等に伴い、子どもの数が大幅に減少したことから、市内小中学校の小規模化が進み、児童生徒の人間関係の固定化や多様な価値観との触れ合いが減少し、不登校やいじめなど、教育上・学校運営上の課題の顕在化が懸念されるため、安心して教育を受けられる環境の提供や充実などが求められています。

2 取組方針

- 1 郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠21(まごころ)学」を推進します。
- 2 不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応します。
- 3 運動の習慣化や正しい食生活を身につけ、健康な体を育む教育を推進します。

4
5
6
7
8
9
10
11
12

3 施策を構成する事業の数

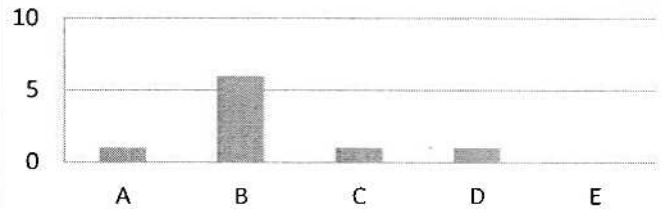
取組方針数	3	第5次実施計画記載事業数	9
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	学校不適応対策事業	不登校状態にある児童生徒に生活及び学習指導等を行い、学校生活に復帰できるように支援する。	7,994	B	適応指導教室の運営、臨床心理士による面接、教育指導員の4人配置(実績:すべて計画どおり実施)
2	いじめ問題対策事業	子どもたちが健やかに成長できる環境を構築するため、いじめの未然防止と早期解決に向けて取り組む。	3,359	B	いじめ問題対策連絡協議会の開催市2回、学校3回、hyper-QU検査の実施2回(実績:すべて計画どおり実施)
3	児童生徒の健康を守る安全安心対策支援事業	児童生徒の精神的ストレスや運動不足を解消し、健康を守るため、小中学校へ専門家を派遣する。	380	D	スポーツトレーナー等を講師にした講習会・研修会の実施40回(実績:18回)
4	中学校部活動支援事業	生徒の技能の向上を図るため、運動部活動の支援事業の実施、講師やアスリート等による指導機会の提供を行う。	6,188	C	講師等を招へいたスポーツ教室・講演会の開催12回(実績9回)
5	スクールカウンセラー等派遣事業	スクールカウンセラー等を小中学校へ派遣し、カウンセリングを通して被災児童生徒の心のケアを行う。	15,872	B	カウンセラー等の学校派遣226回(実績:217回)、専門研修会開催2回(実績:2回)

5 事業の実施状況

事業数	事業数
A 計画を上回って実施	1
B 計画どおりに実施(100%~80%)	6
C 計画を下回る(80%未満)	1
D 計画を大きく下回る(50%未満)	1
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	学級生活に満足している児童生徒の割合	58%	64%	59%	60%	60%	↗
2	新体力テスト	小5 40.0% 中2 47.8%	小5 38.2% 中2 45.8%	小5 42.0% 中2 49.0%	小5 43.0% 中2 50.0%	小5 44.0% 中2 51.0%	↘ ↘
3							

施策 ② 教育水準の向上

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

震災と原発事故の影響による市民の避難や転出等に伴い、子どもの数が大幅に減少したことから、市内小中学校の小規模化が進み、児童生徒の人間関係の固定化や多様な価値観との触れ合いが減少し、不登校やいじめなど、教育上・学校運営上の課題の顕在化が懸念されるため、安心して教育を受けられる環境の提供や充実などが求められています。

2 取組方針

- 1 教育指導体制を充実します。
- 2 地域性を生かした魅力ある教育環境づくりを推進します。
- 3 小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境を整備します。
- 4 学校図書館の充実と調べ学習を推進します。
- 5 地域の状況に応じた市内小中学校の適正化を推進します。

3 施策を構成する事業の数

取組方針数	5	第5次実施計画記載事業数	17
-------	---	--------------	----

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	基礎学力向上対策事業	児童生徒の基礎学力向上のため、学力実態及び変容状況の的確な把握、指導法の改善を図る。	7,534	B	知能検査、標準学力テスト、学習適応性検査各1回実施(実績:各1回)、教職員先進地視察71人(実績:66人)
2	学校司書配置事業	司書教諭等と連携して自由な読書活動の推進や主体的な学習活動を支援するために学校司書を配置する。	10,770	B	学校司書配置3人(実績:3人)
3	キャリア教育支援事業	中学生が将来に夢や希望を持てるよう、キャリアカウンセラー等によるキャリア教育出前講座を実施する。	1,275	A	職場体験実施6校(実績:6校) キャリア教育出前講座2回(実績:3回)
4	学力向上教員配置事業	指導環境を充実し、児童生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上を図るため、市独自の学力向上教員を配置する。	7,980	C	小学校教員3人配置(実績:3人) 中学校教員1人配置(実績:0人)
5	ICT利活用教育推進事業	分かりやすい授業の実現により学習意欲を高めて学力向上を図るため、ICT利活用環境を計画的に整備する。	30,912	B	デジタル教科書整備 中学校6校(実績:6校)、ICT支援員派遣月2回/校(実績:月2回/校)

5 事業の実施状況

	事業数	
A 計画を上回って実施	1	
B 計画どおりに実施(100%~80%)	13	
C 計画を下回る(80%未満)	2	
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0	
E 未実施	1	

6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	学習の意欲が高い児童生徒の割合	小5 39.0% 中2 48.0%	小5 38.0% 中2 55.0%	小5 42.0% 中2 51.0%	小5 43.5% 中2 53.0%	小5 45.0% 中2 55.0%	↘ ↗
2	全国学力調査	小6 100 中3 97	小6 101 中3 98	小6 101 中3 98	小6 102 中3 99	小6 103 中3 100	↗ ↗
3	学校図書館の1人当たりの貸出冊数	22.3冊	26.1冊	27.5冊	29.0冊	30.0冊	↗

施策 ③ 学校環境の整備

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

全国的に子どもたちが被害者となる事故や犯罪が発生していることから、子どもたちの安全確保及び安全な学習環境の整備のため教育施設の適切な維持管理が必要です。

2 取組方針

- 1 学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します。
- 2 地域と連携した登下校時の安全確保や安全な通学手段を確保します。
- 3 学校施設の環境整備・改善に取り組めます。
- 4 安全・安心な学校給食を安定的に供給できる体制を整備します。

5
6
7
8
9
10
11
12

3 施策を構成する事業の数

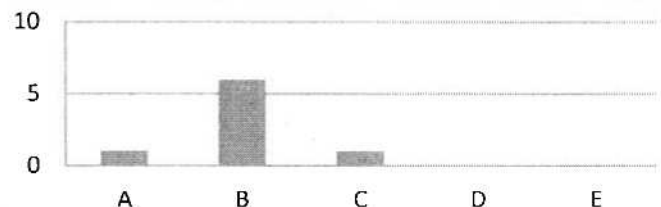
取組方針数	4	第5次実施計画記載事業数	8
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	開かれた学校づくり事業	保護者や地域住民の意向を反映し開かれた学校づくりを進めるため、各小中学校に学校評議員を配置する。	453	B	学校評議員会の開催 各学校年3回 (実績:各学校年3回)
2	遠距離通学費補助金	保護者の負担軽減を図るため、遠距離通学児童の保護者に対し、補助金を交付する。	1,514	C	補助金の交付件数 140件 (実績:92件)
3	小中学校トイレ洋式化事業	快適な教育環境の充実を図るため、トイレ施設の改修を実施する。	35,550	B	トイレ改修工事 原一中1校、実施設計 原三小1校(実績:原一中R2繰越、原三小設計完了)
4	臨時スクールバス等運行事業	東日本大震災に及び原子力災害により避難を余儀なくされた児童生徒の通学のための送迎バス等を借り上げる。	84,549	B	臨時スクールバス等運行 バス2ルート、タクシー4ルート(実績:バス2ルート、タクシー4ルート)
5	学校給食検査体制整備事業	学校給食の安全安心の確保のため、使用する食材の事前検査、提供した給食の事後検査を実施する。	13,454	A	給食食材検査員雇用6人(実績6人)、事後検査100回(実績:184回)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	1
B 計画どおりに実施(100%~80%)	6
C 計画を下回る(80%未満)	1
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	学校に行くのが楽しいと回答する児童生徒の割合	小5 94.0% 中2 80.0%	小5 93.0% 中2 79.0%	小5 94.0% 中2 82.0%	小5 94.5% 中2 83.5%	小5 95.0% 中2 85.0%	↘ ↘
2	関係団体との通学路の合同点検回数	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	→
3							

施策 ④ 結婚・妊娠・出産への支援

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

震災と原発事故以降、出生数が著しく低下していることから、母子保健事業、親子同士の交流、そして思春期保健などの充実により、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援がより一層必要です。

2 取組方針

- 1 母子保健事業及び子育て世代包括支援センター事業の充実を図ります。
- 2 妊産婦や子育て家庭の経済的負担等の軽減を図ります。
- 3 男女の出会いの場づくりに取り組めます。

4
5
6
7
8
9
10
11
12

3 施策を構成する事業の数

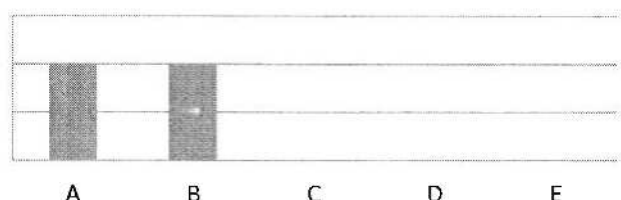
取組方針数	3	第5次実施計画記載事業数	4
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	婚活支援事業	結婚相談、出会いの場の提供のため、縁結びサポーターによる個別相談会、婚活イベントを実施する。	840	B	個別相談会年5回(実績:23回)、出会いイベント年3回(実績:2回)、縁結びサポーターセミナー年1回(実績:1回)
2	子育て世代包括支援センター事業	妊娠期から子育て期の母子保健や育児の悩み等に対応するため、保健師等が相談支援事業等を実施する。	6,787	A	保健師の配置2人(実績:2人)、妊婦・育児相談延べ900件(実績:995件)
3	産後ケア事業	産後の母子の育児不安の軽減を図るため、産後ケア事業を実施する。	320	A	日帰り・宿泊ケアの実施10人(実績:11人)
4	母子保健事業	母性、乳幼児の健康保持増進のため、妊産婦や乳幼児の健診・相談・訪問指導等を行う。	42,742	B	健康教育実施回数80回(実績74回)、健康相談実施件数2,100件(実績:2,904件)
5					

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	2
B 計画どおりに実施(100%~80%)	2
C 計画を下回る(80%未満)	0
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	出生数	362人	284人	362人	362人	362人	↘
2	待機児童数	64人	29人	0人	0人	0人	↗
3							

施策 ⑤ 保育・幼児教育の充実

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

家庭内保育環境の変化や保育料無料化などにより保育の需要が高まる一方、保育士等が不足し待機児童が発生していることから、保育士を市内に呼び込む方策と中長期的に必要な保育サービスの量や私立・公立施設が担うべき役割を踏まえた保育園(所)・幼稚園のあり方の検討が必要です。

2 取組方針

- 1 利用者の立場に立った保育サービスの充実を図ります。
- 2 保護者の経済的負担の軽減を図ります。
- 3 園児の可能性や特性を引き出す幼児教育を推進します。
- 4 保育士・幼稚園教諭の人材確保に取り組みます。
- 5 私立・公立保育園(所)・幼稚園のあり方を検討します。

3 施策を構成する事業の数

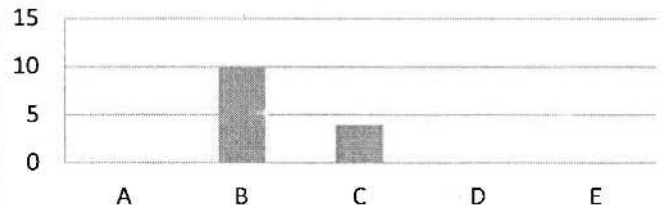
取組方針数	5	第5次実施計画記載事業数	14
-------	---	--------------	----

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	民間保育所等施設整備事業補助金	待機児童の解消を図るため、民間による保育所等施設整備に要する費用に対し、補助金を交付する。	141,866	B	民間保育施設整備箇所数 3カ所 (実績:整備箇所数 3カ所)
2	認可外保育所入所者支援事業	子育て環境の充実を図るため、認可外保育施設に入所している児童の保護者に対し、助成金を交付する。	20,396	B	助成金交付回数2回 対象施設5施設(実績:対象施設5施設、2回交付)
3	保育体制強化事業補助金	保育士の離職防止と職場環境の整備のため、事業者が子育て経験者などを配置する費用に対し、補助金を交付する。	3,060	C	保育支援者の雇用数 4人 (実績:雇用数 3人)
4	保育士等人材確保事業	認可教育・保育施設の保育士、幼稚園教諭の人材不足解消のため、人材確保の取組を実施する。	345	B	保育士等修学資金貸付者数20人(実績:貸付者数16人)
5	小高区認定こども園整備事業	小高区内の子育て環境の魅力を高め、住民の帰還を促進するため、認定こども園を整備する。	366,375	B	施設建設工事の完了 (実績:施設の建設完了)

5 事業の実施状況

事業数	事業数
A 計画を上回って実施	0
B 計画どおりに実施(100%~80%)	10
C 計画を下回る(80%未満)	4
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	待機児童数	64人	8人	0人	0人	0人	↗
2							
3							

施策 ⑥ 子育て環境の充実

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

核家族化や地域のつながりの希薄化により、子育てに不安を感じる親がみられることから、地域全体で子どもと子育て家庭を応援する体制が必要です。また、子どもへの虐待の早期発見と防止対策が必要です。

2 取組方針

- 1 多様化する子育て家庭のニーズに対応します。
- 2 子どもや子育て家庭への保健・福祉が一体となった総合的な支援に取り組みます
- 3 子育てに関する相談・支援体制や情報発信の充実を図ります。
- 4 子育て家庭と地域、子育て支援機関の交流を図ります。
- 5 児童虐待防止対策の充実を図ります。
- 6 震災遺児・孤児等の経済的負担の軽減を図ります。
- 7 子どもがのびのびと遊ぶことができる施設を整備します。
- 8 子育て支援団体の活性化や遊び環境の充実を図ります。
- 9 進学を推進するための支援に取り組みます。
- 10 児童発達支援に取り組みます。
- 11 小中学生への思春期保健事業に取り組みます。
- 12 子どもの発達段階に応えた読書活動を支援します。

3 施策を構成する事業の数

取組方針数	12	第5次実施計画記載事業数	26
-------	----	--------------	----

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	ファミリーサポート推進事業	子育て家庭が安心して働ける社会環境の構築、地域の子育て支援のため、ファミリーサポートセンター事業を実施する。	3,986	A	登録会員数 196人 (実績:登録会員数 205人)
2	子育て応援情報交流事業	子育て環境の充実を図るため、子育てに関する情報を一元化して発信し子育て家庭を支援する。	2,299	B	ハンドブック配布部数 6,000部 (実績:配布部数 6,000部)
3	在宅保育支援金	家庭で保育をする世帯に対し在宅保育手当を交付することで、経済的負担の軽減を図る。	68,740	A	3歳未満の家庭保育を行う保護者へ月1万円を交付 621件 (実績:支援金交付件数 845件)
4	子どもの遊び場整備事業	小高区内に子育てしやすい環境を構築するため、子どもが安心して遊ぶことができる施設を整備する。	29,311	B	施設の地質調査、実施設計、外構設計(実績:地質調査、実施設計、外構設計の完了)
5	放課後子ども教室推進事業	子どもの居場所づくり、帰還促進のため、小高区4小学校の児童を対象に地域住民との交流活動等を実施する。	1,117	B	地域住民や高齢者との交流教室20回(実績:20回)、評価・検証委員会3回(実績:3回)

5 事業の実施状況

	事業数	
A 計画を上回って実施	4	
B 計画どおりに実施(100%~80%)	11	
C 計画を下回る(80%未満)	9	
D 計画を大きく下回る(50%未満)	2	
E 未実施	0	

6 成果の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	放課後児童クラブ待機児童数	59人	8人	0人	0人	0人	↗
2	子育て応援WEBサイトのアクセス数	26,674件	40,943件	35,700件	36,700件	36,700件	↗
3							

施策 ⑦ 生涯学習の充実

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

生涯学習に求めるニーズは高度化・多様化していることから、その的確な把握と、若い世代や子育て世代が生涯学習に興味を持ち、参加できる機会の提供が必要です。

インターネットやゲームが普及する現代において、人生を豊かにする読書によって、多くの世代が、継続して楽しめる環境づくりが必要です。

2 取組方針

- 1 市民が生涯にわたって、学ぶことができる環境を整備します。
- 2 子育て世代や青壮年層が参加しやすい生涯学習機会の充実を図ります。
- 3 震災資料等の歴史・民俗資料を適切に収集・保存し、学校教育や生涯学習への活用を推進します。
- 4 博物館・図書館の魅力ある企画等の充実を図ります。
- 5 読書活動の推進と図書館資料の充実を図ります。
- 6 男女双方の視点から施策を実施するために、あらゆる分野への女性の参画拡大を図ります。

3 施策を構成する事業の数

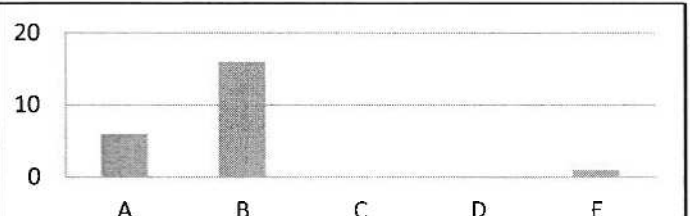
取組方針数	6	第5次実施計画記載事業数	23
-------	---	--------------	----

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	報徳精神がいきづくまちづくり事業	報徳仕法の教えを継承し、心豊かなまちづくり・ひとづくりを進めるため、報徳仕法の学習機会を提供する。	2,396	A	学校教育における「ふるさと教育」等の実施時間 228時間 (実績:374時間)
2	生涯学習講座事業	自ら学ぶ楽しさを実感するため、生涯学習事業や社会教育事業の推進、出前講座を実施する。	2,971	B	学級・講座等の実施回数540回 (実績:実施回数460回)
3	移動図書館管理運営事業	市民の誰もが身近なところで等しく図書館を利用できるようにするため、移動図書館車を運行する。	6,779	B	運行日数 週4日(火～金曜日) (実績:運行日数 週4日)
4	図書整備事業(原町区)	市民の多様な資料要求に応え、学習・文化・教養・調査研究等に寄与するため、図書館資料を整備する。	21,993	A	図書等購入冊数 15,000冊 (実績:16,052冊)
5	博物館体験学習・講座開催事業	市民へ多様な学習機会の場を提供するため、自然・歴史・民俗・考古・野馬追の各分野の体験学習、講座等を開催する。	591	A	体験学習開催数20回、講座開催数8回(実績:体験学習18回、講座12回、出前講座55回)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	6
B 計画どおりに実施(100%～80%)	16
C 計画を下回る(80%未満)	0
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	1



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	生涯学習関連事業の延べ参加人数	13,139人	12,102人	13,900人	14,000人	13,500人	↘
2	博物館の利用者数	12,131人	10,641人	12,470人	12,580人	12,700人	↘
3	図書館の利用者数	91,107人	89,544人	93,600人	94,800人	96,000人	↘

施策 ⑧ 芸術文化の充実

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

芸術文化は市民の趣味や生きがいとして日常生活を豊かにし、潤いを与えるものであることから、多くの市民が身近に芸術文化に触れることができる環境づくりが必要です。

2 取組方針

- 1 身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりを推進します。
- 2 芸術文化活動が行いやすく、参加しやすい環境を整備します。
- 3 芸術文化活動団体の組織力強化に取り組みます。

3 施策を構成する事業の数

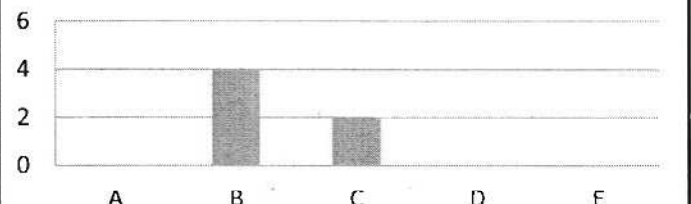
取組方針数	3	第5次実施計画記載事業数	6
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	芸術文化協会等事業補助金	市民の自主的な芸術文化活動の活性化のため、芸術文化の普及を行う団体へ補助金を交付する。	1,310	B	補助金交付件数 5件 (実績: 補助金交付件数 5件)
2	地域文化振興助成事業補助金	市民の文化活動の振興及び育成を図るため、成果発表等を行う団体等へ補助金を交付する。	1,119	B	補助金交付件数 35件 (実績: 補助金交付件数 29件)
3	学校等市民文化会館利用支援補助金	学校等の芸術文化と教育活動の振興のため、行事等で市民文化会館を利用する学校等へ利用料金の一部を補助する。	1,492	C	補助金交付件数 11件 (実績: 補助金交付件数 8件)
4	文化芸術祭事業	芸術文化による新たなまちづくりのため、地域の文化芸術資源を活用した市民参加型の芸術祭を開催する。	1,437	B	子ども文化芸術交流事業1回(実績: 1回)、文化芸術情報紙発行2回(実績: 2回)
5	市総合美術展覧会事業	美術・芸術への理解と関心を高め、その振興と情操の育成を図るため、小学生から大人までの作品の展覧会を開催する。	2,131	B	市総合美術展覧会の開催 1回 (実績: 開催 1回)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	0
B 計画どおりに実施(100%~80%)	4
C 計画を下回る(80%未満)	2
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	芸術イベントの開催件数	63件	59件	72件	75件	78件	↘
2							
3							

施策 ⑨ スポーツの振興

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

体育協会やレクリエーション協会加盟団体の会員・指導者が減少していることから、指導者育成を図ることが必要です。また、各種スポーツ大会の開催も減少していることから、スポーツを楽しめる環境やスポーツを通じた交流の推進が必要です。

2 取組方針

- 1 スポーツ活動が継続的に実践できるようスポーツ機会の拡充を図ります。
- 2 各種スポーツ団体の強化と指導者の育成に取り組めます。
- 3 安心してスポーツ施設を利用できるよう施設の整備や改修に取り組めます。
- 4 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン国との相互交流を推進します。

3 施策を構成する事業の数

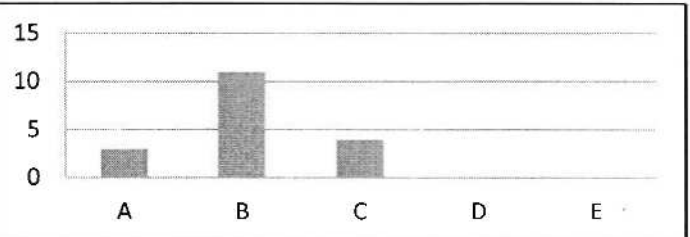
取組方針数	4	第5次実施計画記載事業数	18
-------	---	--------------	----

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	スポーツ少年団育成補助金	スポーツ少年団員と指導者の育成を図るため、本部の事業に係る経費に対し、補助金を交付する。	500	B	補助金交付件数 1件 (実績: 補助金交付件数 1件)
2	体育協会事業補助金	競技スポーツの育成と活性化を図るため、体育協会が実施する事業に対し、補助金を交付する。	3,690	B	補助金交付件数 1件 (実績: 補助金交付件数 1件)
3	健康マラソン大会補助金	市民の健康増進を図るため、健康マラソン大会を実施する実行委員会に対し、補助金を交付する。	5,136	B	補助金交付件数 1件 (実績: 補助金交付件数 1件)
4	体育施設整備事業	市民の健康増進・競技力向上並びに利用者の利便性を図るため、体育施設の整備を行う。	51,303	A	施設整備件数 17件 (実績: 整備件数 19件)
5	スポーツ大会等出場激励金	スポーツの普及・振興と技術の向上を図るため、東北大会以上に出場する選手に対し、激励金を交付する。	2,993	A	激励金交付人数 190人 (実績: 交付人数 260人)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	3
B 計画どおりに実施(100%~80%)	11
C 計画を下回る(80%未満)	4
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	スポーツ施設の利用者数	320,000人	354,953人	324,000人	326,000人	328,000人	↗
2	スポーツ団体への加入者数	4,870人	3,976人	5,107人	5,193人	5,280人	↘
3	市総合体育大会への参加者数	2,460人	1,924人	2,533人	2,558人	2,583人	↘

施策 ⑩ 疾病の予防

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

生活習慣病予防に係る特定健康診査やがん検診の受診率が低いことから、受診率を高める必要があります。

2 取組方針

- 1 生活習慣病予防の健康診査やがん検診の受診率の向上と受診後のフォローアップ拡大を図ります。
- 2 生活習慣病予防を意識した生活習慣の普及に取り組めます。
- 3 疾病予防のための予防接種事業・感染症予防事業を継続します。

3 施策を構成する事業の数

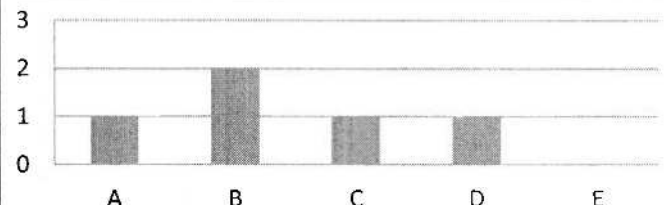
取組方針数	3	第5次実施計画記載事業数	5
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	感染症予防事業	感染症の予防及び拡大防止を図るため、知識の普及啓発や定期予防接種を実施する。	139,319	B	定期予防接種の実施回数21,500回 (実績:21,353件)、結核検診の実施 人数4,000人(実績:4,612人)
2	風しん抗体検査・風しんワ クチン接種助成事業	妊娠初期の風しん感染により胎児が難聴など を発症しないよう抗体検査とワクチン接種者へ の費用助成を行う。	364	D	抗体検査 600件(実績:24件) ワクチン接種 96件(実績:14件)
3	健康診査事業	がん等の早期発見、早期治療に努め、市民の 健康保持増進を図るため、各種がん検診を医 療機関等へ委託し実施する。	85,780	B	集団健診実施回数 56回 (実績:実施回数 55回)
4	県外避難者健診体制 整備事業	東日本大震災及び原子力災害による健康不安 の軽減等を図るため、県外避難者の健(検)診 機会を確保する。	931	C	受診案内通知発送件数1,150通 (実績:889通)、結果通知発送件 数230通(実績:144通)
5	小児用インフルエンザ 予防接種支援事業	小児のインフルエンザ予防及び重症化を防ぐ ため、小児用インフルエンザワクチン接種費用 を助成する。	12,549	A	助成金交付件数 6,000件 (実績:交付件数 6,229件)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	1
B 計画どおりに実施(100%~80%)	2
C 計画を下回る(80%未満)	1
D 計画を大きく下回る(50%未満)	1
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	特定健康診査の受診率	38.0%	38.7%	41.0%	42.0%	45.0%	↗
2	大腸がん検診の受診率	23.1%	24.0%	33.0%	37.0%	41.0%	↗
3							

施策 ⑪ 心身の健康づくり

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

本市の死因における生活習慣病割合は高く、要介護(要支援)認定者の高血圧症や心臓病を有する割合も高いことから、運動不足解消や正しい食生活の習慣化の取組が必要です。また、全国で自殺者数が増加していることから、本市においても、市民の悩みや不安の軽減と自殺予防対策の推進が必要です。

2 取組方針

- 1 健康づくりアクションプランを推進します。
- 2 民間事業者を活用した健康運動を推進します。
- 3 事業所単位の健康づくりの取組を促進します。
- 4 スポーツに触れられる環境や習慣的に運動する意欲、体力の向上を推進します。
- 5 生涯にわたる歯科保健を推進します。
- 6 家庭・学校・職場等、ライフステージに応じた食育を推進します。
- 7 自殺予防対策を推進します

3 施策を構成する事業の数

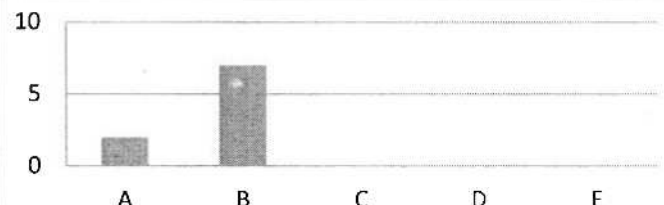
取組方針数	7	第5次実施計画記載事業数	9
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	心のケア事業	東日本大震災後に増大した精神的ストレスを緩和し、自殺を予防するため、心のケアを実施する。	1,267	B	相談者育成研修会3回(実績:2回)、心の健康相談会44回(実績:44回)、講演会1回(実績:1回)
2	食生活改善推進事業補助金	地域での食育推進を目的とした食生活改善の普及啓発等の活動を行う団体へ、補助金を交付する。	500	B	補助金交付件数 1件 (実績:交付件数 1件)
3	健康づくり推進事業	市民の健康づくり増進のため、保健事業計画の進行管理を行い、健康づくりに関する事業を推進する。	1,596	B	健康づくり推進協議会開催2回(実績:2回)、ガイドブック作成1回28,000部(実績:1回28,000部)
4	食育推進事業	健康的な食生活の実践に資するため、各ライフステージにおける食育を推進する。	871	B	母子関係事業実施回数100回(実績:85回)、成人関係事業実施回数100回(実績:87回)
5	健康増進事業	市民の健康の保持増進を図るため、健康に関する正しい知識の普及、健康教育・相談・家庭訪問を行う。	3,211	B	シンポジウムの開催数1回(実績:1回)、健康づくり推進リーダーの養成講座1回(実績:1回)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	2
B 計画どおりに実施(100%~80%)	7
C 計画を下回る(80%未満)	0
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	31.7%	31.9%	31.0%	30.0%	29.0%	↘
2	食生活改善推進員数	54人	48人	53人	56人	60人	↘
3	ゲートキーパー登録者数	68人	81人	87人	92人	97人	↗

施策 ⑫ 放射線対策の継続

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

放射線による人体への影響に不安がある市民については、継続的な被ばく線量の測定や放射線専門家と連携した情報提供の実施が必要です。

2 取組方針

- 1 被ばく線量測定・分析や情報提供を継続します。
- 2 戸別訪問・窓口相談による放射線健康相談を継続します。
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12

3 施策を構成する事業の数

取組方針数	2	第5次実施計画記載事業数	4
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	帰還住民放射線対策機器点検校正事業	放射線への不安の解消と安全・安心の確保のため、市民に配布した放射線測定器の点検・校正を行う。	633	D	点検・校正台数 300台(実績:95台)、ホルダ及びアダプタ交換台数50台(実績:7台)
2	健康管理支援事業(個人線量計)	市民の放射線に対する健康不安を軽減するため、個人積算線量計により外部被ばく線量を測定する。	73,098	B	外部被ばく測定回数4回(実績:4回)、放射線健康対策委員会3回(実績:2回)
3	放射線被ばく検診事業	市民の放射線への健康不安を軽減するため、ホールボディカウンターで内部被ばく検診を実施する。	26,375	C	内部被ばく検診実施人数検診人数9,500人(実績:7,412人)、ベビースキャン530人(実績:334人)
4	放射線健康相談事業	市民の放射線への健康不安を軽減するため、放射線健康相談員を配置し、戸別訪問等を実施する。	13,071	D	放射線情報紙発行2回(実績:2回)、学校放射線教育35回(実績:26回)
5					

5 事業の実施状況

事業数	3
A 計画を上回って実施	0
B 計画どおりに実施(100%~80%)	1
C 計画を下回る(80%未満)	1
D 計画を大きく下回る(50%未満)	2
E 未実施	0

A B C D E

6 成果指標の進捗

指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1 内部被ばく検診・外部被ばく測定結果等の 情報提供回数	11回	11回	11回	11回	11回	→
2						
3						

施策 ⑬ 地域医療の連携強化

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

震災と原発事故の影響による医療スタッフの不足により、休止や規模縮小を余儀なくされている医療機関があることから、医師や看護師などの医療スタッフを確保し、医療提供体制を再構築することが必要です。また、将来に向けて、早期に地域内での機能分担や医療資源の活用を図ることが必要です。

小高区においては、居住者の多くが高齢者であることから、安定した医療を継続して提供していくことが必要です。

市立総合病院においては、震災前に比べ、一定の医師数は確保しているものの、常勤医師の診療科目に偏りがあることや新採用職員が増加していることから、不足する診療科目の専門医確保や技術力の向上とおもてなし的接客対応の研修・教育の徹底が必要です。

2 取組方針

- 1 地域医療の連携を強化し、充実した医療体制を確保・維持します。
- 2 小児科・産科医療の充実を図ります。
- 3 医療人材の連携体制を構築し、市内医療機関の人材確保に取り組みます。
- 4 医療分野での外国人受け入れ環境を整備します。
- 5 市立病院の入院機能と病棟再編に取り組みます。
- 6 被災地医療の推進に取り組みます。
- 7 小高病院と総合病院の連携を強化し、帰還した市民に寄り添った医療を提供します。
- 8 小高区での入院機能再開を検討します。

9
10
11
12

3 施策を構成する事業の数

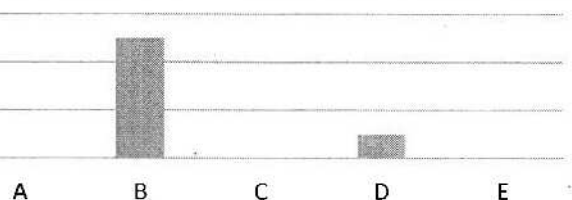
取組方針数	8	第5次実施計画記載事業数	6
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	地域医療提供体制推進事業	地域医療提供体制整備のため、医療機関等の意見集約、現状把握の上、施策実施を検討・立案する。	23	B	医療機関との意見交換会開催数 2回(実績:2回)
2	公立双葉准看護学院運営費負担金	双葉地方の看護職不足に備え、本市で双葉准看護学院を一時再開し、相馬地方の看護従事者を確保する。	20,290	B	負担金支出件数 1件(実績:支出件数1件)
3	地域医療提供体制整備事業補助金	市民の健康と福祉の増進のため、市内で不足する診療科の診療所を開設する開業医へ補助金を交付する。	11,871	B	補助金交付件数 1件(実績:交付件数1件)
4	寄附講座設置事業	本市で必要な二次医療を提供する医師の確保に向け、寄附講座から市内病院に医師派遣を含む医療支援を受ける。	0	D	講座設置件数 1件(実績:設置件数0件)
5	看護師確保推進事業	市内医療機関の看護師不足を解消するため、人材確保に向けた各種取組を実施する。	1,340	B	市内医療機関合同面接会2回(実績:2回)、中高生説明会8回(実績:6回)、意見交換会1回(実績:2回)等

5 事業の実施状況

事業数	事業数
A 計画を上回って実施	0
B 計画どおりに実施(100%~80%)	5
C 計画を下回る(80%未満)	0
D 計画を大きく下回る(50%未満)	1
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	市内医療機関における看護職員の数	461人	485.5人	509人	525人	540人	↗
2	小児入院受け入れ病院数	0施設	0施設	0施設	0施設	1施設	→
3							

施策 ⑭ 救急医療体制の維持

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

相馬地方管内の救急車現場到着及び病院到着時間は、全国に比べ延長傾向にあるため、搬送先医療機関の決定までに要する時間の短縮が必要です。

2 取組方針

- 1 24時間365日、救急搬送の受け入れに応じ、傷病者の状態に応じた適切な情報や救急医療を提供できる体制を整備します。
- 2 救急車の適正利用を促進します。
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10

3 施策を構成する事業の数

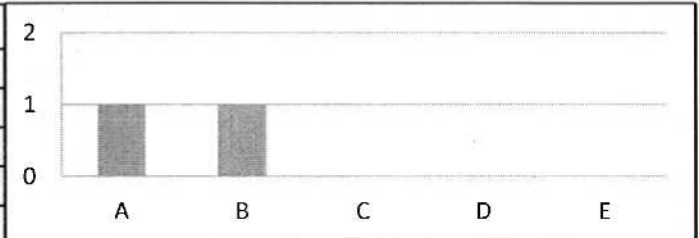
取組方針数	2	第5次実施計画記載事業数	2
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	相馬地方広域市町村圏組合衛生費等負担金	東日本大震災及び原子力災害で生活基盤を失った精神障がい者等の支援団体の活動費として、負担金を支出する。	118,699	B	負担金 1回(実績:1回)
2	夜間小児科・内科初期救急医療事業	市民の健康を守り、安心して生活ができる環境を構築するため、夜間の初期救急医療体制を整備する。	5,654	A	医師の配置 1名(実績:1名) 実施日数 119日(実績:125日)
3					
4					
5					

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	1
B 計画どおりに実施(100%~80%)	1
C 計画を下回る(80%未満)	0
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	市内救急医療機関数	4病院	4病院	4病院	4病院	4病院	→
2							
3							

施策 ⑮ 地域福祉の向上

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

避難や転居等により生活環境や地域の関係性が変化し、住民相互のつながりが希薄になっていることから、地域住民が互いの個性を尊重し、地域で安心して生活できるようお互いに支え合い、助け合っていくことが必要です。

2 取組方針

- 1 福祉サービスの充実に取り組みます。
- 2 住民相互に助け合い、支え合う地域福祉活動を推進します。
- 3 民生委員・児童委員の負担軽減を図ります。
- 4 孤独死、孤立死の防止に取り組みます。
- 5 生活困窮者の早期発見と就労支援に取り組みます。
- 6 成年後見制度の利用を促進します。
- 7 再犯防止に向けて保護司会をはじめとする関係機関との連携を推進します。

3 施策を構成する事業の数

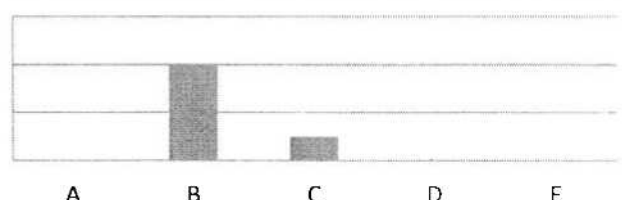
取組方針数	7	第5次実施計画記載事業数	5
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	生活保護受給者熱中症対策助成金	生活保護受給者の熱中症予防のため、冷房器具を設置しない受給世帯に対し購入費用を助成する。	3,989	C	補助金交付件数 89件 (実績: 交付件数 58件)
2	地域福祉総合対策事業補助金	地域に則した福祉サービス提供のため、南相馬市社会福祉協議会に対し、補助金を交付する。	11,749	B	補助金交付件数 1件 (実績: 交付件数 1件)
3	健康福祉まつり事業補助金	保健福祉の理解を深めてもらうため、健康福祉まつりを開催する実行委員会に対し、補助金を交付する。	150	B	補助金交付件数 1件 (実績: 交付件数 1件)
4	民生・児童委員活動推進事業	市民の福祉向上のため、相談・援助にあたり社会福祉の増進に努める民生委員・児童委員の活動を推進する。	15,376	B	民生・児童委員活動推進研修会開催15回(実績: 12回)
5	特定疾患患者見舞金給付事業	特定疾患患者又はその保護者に対し、見舞金を支給する。	7,920	B	見舞金支給件数 460件 (実績: 支給件数 396件)

5 事業の実施状況

事業数	事業数
A 計画を上回って実施	0
B 計画どおりに実施(100%~80%)	4
C 計画を下回る(80%未満)	1
D 計画を大きく下回る(50%未満)	0
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	民生委員・児童委員委嘱率	94.3%	91.9%	95.0%	98.0%	100.0%	↘
2	生活困窮者新規相談件数	141件	117件	139件	161件	184件	↘
3							

施策 ⑯ 介護予防と高齢者福祉の向上

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

元気な高齢者が増えている一方、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加など、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けることができる取組が求められています。

2 取組方針

- 1 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、保健医療・生活支援・介護予防・住まい・介護サービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムを推進します。
- 2 高齢者の孤立予防と地域の見守り体制を整備します。
- 3 高齢者の健康意識の向上と生きがいを推進します。
- 4 地域サロン等活動の活性化を推進します。
- 5 介護保険制度の安定的な運営と適切なサービスの提供を図ります。
- 6 外国人材の確保・活用促進を図ります。
- 7
- 8
- 9
- 10

3 施策を構成する事業の数

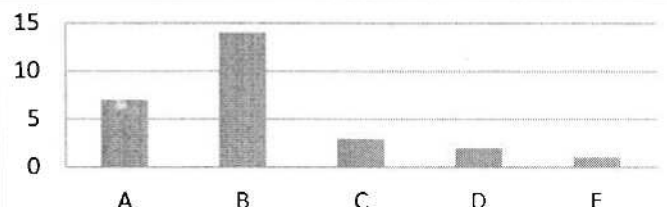
取組方針数	6	第5次実施計画記載事業数	27
-------	---	--------------	----

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	老人クラブ活動等社会活動促進事業補助金	高齢者の生きがいを高め健康増進や社会参加を促すため、老人クラブ活動等に対し補助金を交付する。	4,764	A	補助金交付件数 82件 (実績: 交付件数 83件)
2	外国人介護人材受入推進事業	外国人技能実習制度の推進を図る市内の介護事業所に対し、受け入れに対する支援を実施する。	151	C	研修会開催2回、先進地視察1回 (実績: 研修会1回、先進地視察1回)
3	老人クラブ育成事業	市民が生き生きと安心して元気に暮らせる環境づくりを推進するため、老人クラブの育成を促進する。	6,167	B	支援員配置 2人 (実績: 配置 2人)
4	老人福祉センター建設事業(原町区)	高齢者の憩いの場である原町老人福祉センターの機能や利便性を向上させるため、新たに建設する。	319,661	B	施設の建設工事 (実績: 工事完了)
5	介護予防普及啓発事業	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと生活できるよう介護予防の知識普及と運動教室を実施する。	197	B	元気高齢者運動教室開催18人グループ×4コース(実績: 18人グループ×4コース)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	7
B 計画どおりに実施(100%~80%)	14
C 計画を下回る(80%未満)	3
D 計画を大きく下回る(50%未満)	2
E 未実施	1



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	65歳以上の要介護(要支援)認定者の割合	16%	16%	16%	16%	16%	→
2	週一サロンを実施する地域	14か所	26箇所	30箇所	34箇所	34か所	↗
3							

施策 ⑰ 障がい児・者福祉の向上

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

様々な困難・課題を個人で背負うのではなく、地域全体の課題として取り上げられ、支え合う社会が求められています。

2 取組方針

- 1 子どもから老年期までの、ライフステージに合わせた支援体制を構築します。
- 2 障がい者の地域生活への移行や高齢化・重度化を見据えた地域との連携体制を整備します。
- 3 社会参加の促進と自立を支援します。
- 4 障がい福祉サービスの充実を図ります。
- 5 障がい者の雇用促進を図ります。

6
7
8
9
10
11
12

3 施策を構成する事業の数

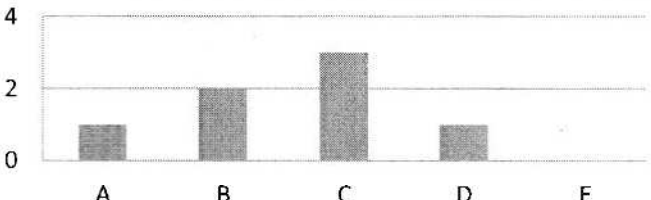
取組方針数	5	第5次実施計画記載事業数	7
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	障がい者用自動車改造等補助金	障がい者の社会参加の促進と自立支援のため、自動車改造と免許取得の費用の一部に対し、補助金を交付する。	200	C	自動車改造補助件数2件(実績:0件)、自動車操作訓練補助件数1件(実績:2件)
2	障がい者社会参加促進事業	障がい者の自立と社会参加の促進のため、障がい者のニーズに応じた事業や支援事業を実施する。	4,157	B	手話講習会30回(実績:39回)、朗読講習会8回(実績:4回)、声の広報発行年24回(実績:24回)
3	日中一時支援事業	障がい児の放課後の活動の場や家族が日中不在時に活動する場の確保のため、日中一時支援事業を実施する。	2,164	C	基本事業744日(実績:481日)、送迎720回(実績:502回)、入浴24回(実績:19回)
4	コミュニケーション支援事業	聴覚障がい者が社会参加の際に円滑な意思の疎通を図るため、手話通訳者を派遣する。	264	A	派遣延べ回数48回(実績:85回)
5	重度心身障がい者タクシー運賃助成事業	重度身体障がい者の経済負担の軽減と生活の安定を図るため、タクシー運賃の一部を助成する。	82	B	タクシー券の発行 中型13件、介護1件(実績:中型13件、介護0件)

5 事業の実施状況

事業数	事業数
A 計画を上回って実施	1
B 計画どおりに実施(100%~80%)	2
C 計画を下回る(80%未満)	3
D 計画を大きく下回る(50%未満)	1
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	地域移行支援の利用者数	4人	1人	3人	4人	5人	↘
2	福祉施設から一般就労への移行者数	7人	4人	8人	9人	10人	↘
3							

施策 ⑱ 被災者への支援

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

旧避難指示区域内では、居住者の高齢化や避難による世帯構成の変化など生活環境の変化がみられることから、市民のニーズに応じた支援策が求められています。また、避難先での仕事や学校の安定により生活拠点が避難先に移っている世帯が増加していることから、市外避難者への情報提供や意見聴取のあり方の検討が必要です。

2 取組方針

- 1 心身の健康増進や孤立の防止、コミュニティの再構築など市民のニーズに応じた支援を行います。
- 2 市外避難者への情報提供を継続します。
- 3 賠償内容の理解促進と賠償手続きを支援します。
- 4 賠償全般の問題解決に向けた取組を推進します。

3 施策を構成する事業の数

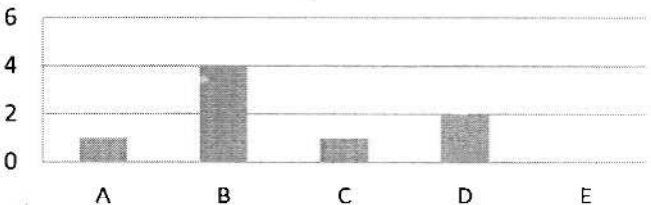
取組方針数	4	第5次実施計画記載事業数	8
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	被災者支援団体活動 事業補助金	被災者の心の復興の促進のため、被災者ニーズに応じた活動に取り組むNPO等の支援団体に対し、補助金を交付する。	38,828	B	補助金交付件数 11件 (実績: 交付件数 11件)
2	原子力損害賠償請求 支援事業	市民の原子力損害賠償請求を支援をするため、相談会の開催等による相談対応、情報提供を行う。	2,888	A	相談会・訪問相談 12回 (実績: 市内相談会・訪問相談20回、市外避難者相談会10カ所)
3	一時帰宅等交通支援 事業	旧避難指示区域内の帰還住民の不便解消を図るため、ジャンボタクシーを運行する。	42,073	C	時刻表の配布、事業所等への周知2回(実績: 時刻表配布、事業所への周知1回)
4	ふるさと帰還促進事 業	旧避難指示区域内から避難した市民の市内への帰還促進を図るため、移転等に要した費用に対し、補助金を交付する。	18,307	D	補助金交付件数 542件 (実績: 交付件数 269件)
5	旧避難指示区域内帰 還者支援事業	旧避難指示区域内への帰還支援のため、移転に要した費用に対し、補助金を交付する。	1,929	D	補助金交付件数 401件 (実績: 交付件数 71件)

5 事業の実施状況

事業名	事業数
A 計画を上回って実施	1
B 計画どおりに実施(100%~80%)	4
C 計画を下回る(80%未満)	1
D 計画を大きく下回る(50%未満)	2
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	市外避難者の帰還者数	—	823人	847人	—	774人	↗
2	原子力損害賠償未請求者	419人	389人	378人	368人	358人	↘
3							

施策 ⑬ 農業生産基盤と農村環境の整備

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

震災と原発事故の影響による農地や農業用施設・機械の被害などで、農業者の経営が厳しい状況にあることから、生産基盤である農地等の集積・集約や区画整理等による低コスト化・効率化など生産性向上のための取組が必要です。

2 取組方針

- 1 ほ場整備をはじめとした農業生産基盤を整備します。
- 2 新たな作物の作付奨励や機械化作業体系の確立など生産性の向上を図ります。
- 3 農業・農村が有する多面的機能の維持・向上等、営農環境の再生に取り組めます。
- 4 放射性物質対策に継続的に取り組みます。
- 5 捕獲隊員の確保・育成を目的とした射撃場の整備検討など有害鳥獣対策を推進します。

3 施策を構成する事業の数

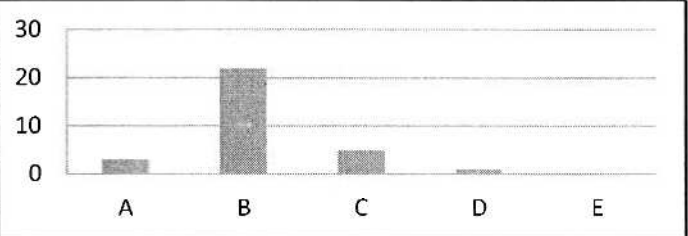
取組方針数	5	第5次実施計画記載事業数	31
-------	---	--------------	----

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	多面的機能支払交付金	地域資源の適切な保全管理を推進するため、地域農業者等で構成された活動組織に対し、交付金を交付する。	167,649	B	交付金交付件数 原町区23団体(実績:21団体)、 鹿島区25団体(実績:24団体)
2	水稻作付再開奨励事業	早期の営農再開促進のため、旧避難指示区域でH31年度から水稻作付を再開する農業者に対し、奨励金を交付する。	7,339	A	奨励金交付対象面積68ha(実績:98ha)
3	被災地域農業復興総合支援事業(農業用機械等)	東日本大震災及び原子力災害により被災した農業者の営農再開支援のため、農業用機械及び施設等を無償貸与する。	1,179,482	B	貸与組織数33組織(実績:28組織)
4	営農再開支援水利施設等保全事業(施設改修)(小高区)	営農再開を促進するため、農業用施設(水路、頭首工、サイフォン、ため池等)を改修する。	227,410	B	大井用水路外工事9か所(実績:9か所完了)、吉名頭首工外工事5か所(実績:5か所施工中、継続費設定)
5	農業基盤整備促進事業(小高区)	原子力災害により被災した農山村地域の農業再生加速化のため、生産基盤の整備を実施する。	100,214	B	水路改修(耳谷用水路)工事 用地補償5件(実績:5件施工中、継続費設定)

5 事業の実施状況

	事業数
A 計画を上回って実施	3
B 計画通りに実施(100~80%未満)	22
C 計画を下回る(80%未満)	5
D 計画を大きく下回る(50%未満)	1
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	ほ場整備事業計画確定面積	1,739ha	2,084ha	2,423.6ha	2,803.9ha	2,939ha	↗
2	多面的機能支払交付金の活動団体数	43団体	45団体	46団体	48団体	50団体	↗
3							

施策 ⑳ 担い手の育成・確保

1 施策の現状と課題 * 計画策定当初

担い手の高齢化や後継者不足により、農村環境の保全や耕作放棄地への地域ぐるみの対応が困難となっていることから、若手就農者の育成・確保や認定農業者への支援など、担い手の確保や経営支援に取り組む必要があります。

2 取組方針

- 1 認定農業者や青年就農者等の担い手育成を進めるとともに、担い手への農地集積・集約化を推進します。
- 2 漁業後継者の育成に取り組めます。

3 施策を構成する事業の数

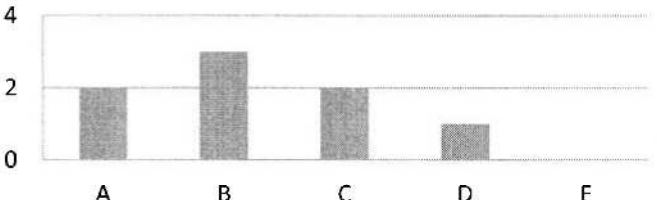
取組方針数	2	第5次実施計画記載事業数	8
-------	---	--------------	---

4 主な実施計画記載事業

No	事業名	事業内容	決算額 (千円)	達成度	活動指標
1	多様な担い手育成・確保事業補助金	経営不安定な就農初期段階の支援で多様な担い手を確保・育成するため、新たに農業を営む者へ補助金を交付する。	0	D	補助金交付件数10件(実績:0件)
2	農業次世代人材投資事業補助金	就農者の定着を図り、担い手に誘導するため、経営の不安定な新規就農者に対し、給付金を支給する。	3,820	C	給付件数5件(実績:3件)
3	経営改善支援事業	認定農業者等の農業経営の改善支援のため、農業経営改善センターに農業経営改善支援相談員を配置する。	9,910	A	認定農業者等に対する相談件数550件(実績:579件)
4	農業経営人材育成事業(南相馬農業復興チャレンジ塾)	本市農業の次世代を担う農業者の確保・育成を図るため、南相馬農業復興チャレンジ塾を開催する。	555	C	講義開催12回(実績:8回)
5	人・農地プラン作成・見直し等支援事業	地域の中心となる経営体の確保や農地集積に必要な取組を支援するため、人・農地プランを作成する。	3,646	A	人・地プラン作成地区3地区(実績:4地区 小高区泉沢地区、女場地区、飯崎地区、片草地区)

5 事業の実施状況

事業数	事業数
A 計画を上回って実施	2
B 計画通りに実施(100～80%未満)	3
C 計画を下回る(80%未満)	2
D 計画を大きく下回る(50%未満)	1
E 未実施	0



6 成果指標の進捗

	指標名	計画策定時の 現状値	令和元年度末 実績値	令和2年度末 目標値	令和3年度末 目標値	令和4年度末 目標値	進捗状況
1	農業法人数	50経営体	57経営体	53経営体	54経営体	55経営体	↗
2	認定農業者(個人・農業法人)の経営面積	2,242ha	2,309ha	2,500ha	2,700ha	2,900ha	↗
3	漁協青壮年部員数	14人	14人	16人	17人	18人	→